公民館報
こもろ
No.913
令和８年 3月号
発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒 384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

年末年始子ども講座「書初め教室」開催しました！

初めて書初め教室を開催しました。冬休みの課題を仕上げようと、想定を上回る小中学生の参加がありました。参加者は、講師である小諸書芸連盟の皆さんに筆の運び方や文字のバランスなどを教わりながら一枚ずつ丁寧に取り組んでいました。納得のいく作品が出来上がり、とても満足そうでした。

❖内容

p.21 「えんぴつリレー」（池田輝希さん）
「五行歌」（こもろ五行歌の会）
p.22 第 61 回児童生徒新年書初め展
p.24 「今支館・分館では」（池の前分館）
【報告】女性学級（学級長 小山志保子さん）
p.25 「ぼくとわたしの作品」（東小学校）ほか

カラー版はこちら

3月3日は「桃の節句」とも呼ばれる「ひな祭り」の日です。

これは、古来中国から伝わった五節句のひとつです。桃の花が咲く時期であることから「桃の節句」と呼ばれるようになりました。桃の花は、春の訪れを告げる花として古くから親しまれていると共に、邪気を払う力があるとされ、この時期には家の中に桃の花を飾る風習があります。鮮やかな桃色の花が、寒さの残る3月に春の気配を届けてくれます。

近年では、家族でひな人形を飾ったり、かわいらしいスイーツを楽しんだりするなど、伝統を守りつつも、現代風のアレンジを加えて桃の節句を祝う家庭も増えています。また地域によっては趣向を凝らした雛人形の展示や、子どものためのイベントも行われています。

桃の節句は、日本の春の始まりを感じさせてくれる大切な行事です。女の子の健やかな成長と幸せを願う心を大切にしたいものです。

編集委員　中山　正男

「大浅間火煙太鼓40周年記念 自主公演を開催して」

大浅間火煙太鼓　師範　池田　輝希

大浅間火煙太鼓は、１９８５年に発足し昨年40周年を迎え、12月13日㈯に小諸市文化センターにて自主公演を開催しました。１９９９年に初めて自主公演を開催して以来、大雪や新型コロナウイルス感染症流行の影響による開催中止はありましたが、26年間小諸市をはじめ地域の皆様方のご支援をいただくなかで自主公演を開催しています。

また、40年間で「打ち手」として在籍したメンバーは１００名を超え、歴代会員ひとりひとりが注いだ太鼓への情熱と弛まぬ努力というバトンが繋がれてきたからこそ、今日の私たちの響きがあり公演ができています。

公演当日は、会場を埋め尽くすほど多くのお客様にお越しいただき、大盛況となりました。お客様にはご不便をお掛けしてしまいましたが、多くの方に足をお運びいただき、温かい拍手をいただきました。心より感謝申し上げます。打ち手にとってはこれ以上なく、40周年をお祝いし、持てるすべてを出し切るにふさわしい最高の舞台となりました。

演者は、小諸市御影地区で活動している「御影天領太鼓」さん、今年度より子供太鼓を卒業したメンバー限定で発足した「中学生太鼓チーム」、小学４年から６年生で結成されている「大浅間火煙太鼓子供太鼓クラブ」、そして「大浅間火煙太鼓」のメンバー総勢67名となり、日々の研鑽を積み重ねた集大成として演奏をいたしました。

40年という歴史は、私たちにとって一つの通過点であると考えています。この節目の公演でも、太鼓の響きには人と人を繋ぐ力強さがあると改めて感じました。次回の公演では、さらに進化した私たちの姿をお見せすることができればと考えています。

地域の皆様にはこれからも挑戦を続ける私たちを温かく見守っていただき、市のお祭りなどの舞台を通じて、笑顔と元気をお届けできるよう、精一杯の演奏を届けてまいります。

私たちは、伝統を大切にしながらも、常に新しい「響き」を追求し、より深く、より熱い鼓動を皆様の心に直接届く自主公演を続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

五行歌

こもろ五行歌の会

●青空を舞う
とりの影
数羽
障子に写る
新年の朝

甘利滋子

●手前みそが好き
孫達に手伝ってもらい
今年もみそ造り完了
私は
口を動かしていただけ

高橋咲枝

●元旦夜明けに
聞こえる
救急車のサイレン
人の命に
大みそかも正月もなく

大池佳子

●生をあきらめたか
炎天下の道端に
横たわる白いネコ
四肢の肉球は
真赤な火脹れに

荻原葉子

●小諸市と御代田町が
消滅したようだ
ガザの死者６万人
天の神々よ
何をしている

柏木ひろみ

●バリバリっと
霜柱を踏む
浅間山は
初冠雪
冬本番だ

倉本妙子

第61回 児童生徒新年書初め展

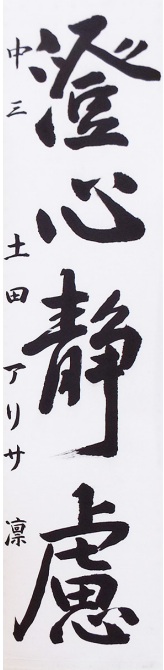
新年への希望や決意を表現することにより、健全な精神の育成と、小諸の書芸文化の発展を目的に、本年も児童生徒新年書初め展を開催しました。今年は492点の応募があり、その作品の中から市長賞を始めとする特別賞に10点、特選に22点が選ばれました。開催日の1月31日㈮～2月2日㈰の3日間は、大勢の皆様に鑑賞していただきました。

※【出展資格】市内に居住する児童生徒、市内の学校・書塾へ通学する児童生徒

ー特別賞ー

作品寸評　審査委員長　成沢臨舟　先生

小諸市長賞

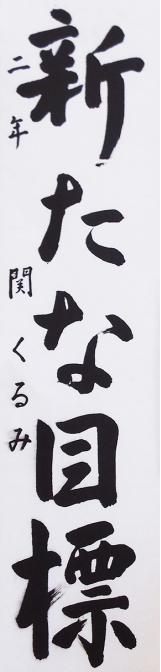


中三　土田　アリサ　凛

小諸東中学校　三年　土田（つちだ）アリサ凛（りん）

澄み切った心で書いた貫通力ある運筆に流れあり、リズムに加え安定感に満ちた品格の高い作品である。

小諸市議会議長賞

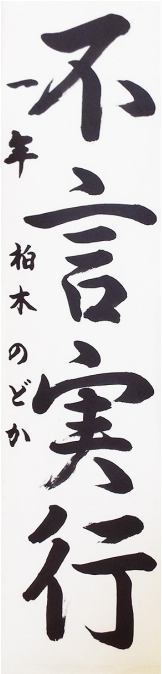


二年　関　くるみ

芦原中学校　二年　関（せき）くるみ

墨量豊かで落ち着いた筆運び、太く厚みのある暖かな線で今年の目標を書き上げた重厚な作品である。

小諸市教育長賞



一年　柏木　のどか

屋代高等学校附属中学校　一年　柏木（かしわぎ）のどか

行書の軽快な流れ、脈絡を効かせ、柔らかで雄大な筆運びは、風格のある気品に満ちた良い作品である。

小諸市公民館長賞

六年　大池　ひいろ

美南ガ丘小学校　六年　大池（おおいけ）ひいろ

強い、伸びやかな線で平行感が充実、一点一画おろそかにせず、「強い信念」が伝わる見事な作品である。

小諸市文化協会長賞

美南ガ丘小学校　六年　塩川結花

起筆送筆終筆、正しい運筆で伸びやかな線、名前が作品を一段と引き上げて安定感に満ちた秀作となる。

小諸市校長会長賞

美南ガ丘小学校　五年　江藤穂奈美

使いなれない書初めの太筆で、墨量豊かに位置良し、形良く、スケールの大きな味わい深い作品である。

小諸書芸連盟会長賞

水明小学校　五年　小林結和

潤いと暖かみのあるのびやかな線で、清々しい朝の表現を書き上げた、安定感に満ちた良い作品である。

小諸市青少年育成会連合会長賞

坂の上小学校　四年　掛川さつき

書きなれない太筆に墨をたっぷりつけ、丁寧な筆遣い、一生懸命生きる力を表現できた良い作品である。

小諸市社会福祉協議会長賞

美南ガ丘小学校　四年　柏木陽南

力強い線、腕を大きく使った運筆の勢いが「力」の字にこもり余白を上手に遣い名前も良く生きた作品である。

小諸商工会議所会頭賞

千曲小学校　三年　上野つむぎ

小3とは思えない堂々の筆遣い、子どもらしさの中にも伸びやかで、気力の充実を感じる、良い作品である。

特選

坂の上小学校	三年	大井玲実
東小学校	三年	小林明莉
野岸小学校	三年	塩川花菫
東小学校	四年	髙藤莉桜
千曲小学校	四年	野元美虹
野岸小学校	四年	山崎圭翔
美南ガ丘小学校	五年	内木胡麦
野岸小学校	五年	衛藤照仁
田中小学校	五年	高藤希來
坂の上小学校	五年	高橋叶恵
東小学校	五年	柳澤香希愛
美南ガ丘小学校	五年	和田守瑞穂
千曲小学校	六年	小野柚希
東小学校	六年	小林潤平
野岸小学校	六年	柳沢羽音
坂の上小学校	六年	土屋陽奏
美南ガ丘小学校	六年	山田匠真
小諸東中学校	一年	受川心音
小諸東中学校	一年	水城陽菜
小諸東中学校	二年	小山紗央
小諸東中学校	二年	柳澤夢心
浅間中学校	三年	佐藤聖奈

今 支館・分館では

「獅子舞」 ―池の前分館―

1月3日、今シーズン一番の冷え込みではないかと思うほどの寒さの中で、獅子舞が行われました。

集合時間の8時半前までには、参加予定の子ども達が揃い、「道祖神という人は賑やかなことが大好きで子どもを集めて人参か」という唄の練習を行いました。

そして、9時、公民館の北側コースと南側コースの2チームに分かれて獅子舞が出発しました。ここには100年以上前から伝わるという獅子頭と、新しく作られた獅子頭の2つがあることから、2チームが可能になりました。道中、子ども達は太鼓をたたき、道祖神の唄を唄い、獅子舞をしながら区内を歩きました。

池の前地区では、事前に獅子舞の希望確認をしています。希望のあった家に来ると、唄や太鼓に合わせて獅子舞が玄関に入っていきます。獅子頭の中から紅白の餅をご家族に渡すと、代わりにご祝儀をいただきます。これを繰り返しながら十数軒を回りました。

途中、事前に希望のなかった家でも行うことになりました。予定数しか持ち歩いていなかった紅白の餅を、保護者が慌てて公民館に取りに行くといったハプニングもありましたが、無事に獅子舞をすることができました。

それぞれ舞い終えた2つのチームは公民館に戻り、ここで少し時間調整をしてから、池の前地区にある老人ホームに向かいました。到着すると、老人ホーム側でも準備ができていて、入所している方々が玄関に集まっていました。獅子頭で入所者の頭を軽く噛むと、何ともうれしそうな表情をされていました。その後公民館に戻り、終了となりました。

私の育った地区では獅子舞がなかったので、実際に目にしてみると羨ましいなと思いました。子どもの時に経験した伝統行事は、貴重な経験だったのだなと大人になってはじめてわかるものです。PTAや公民館役員にとっては大変ですが、生まれ育った地域の絆を深めるものとして、少子化の中、継続していってほしいと願うばかりです。

編集委員　小林　隆志

令和７年度

生涯学習 ―女性学級―

『生涯楽しく学びたい』という皆様のご要望にお応えしようと、小諸市公民館では様々な講座・教室・学級を設けています。その中から女性学級をご紹介します。

「広がる世界」

学級長　小山　志保子

柔らかな若葉が美しい5月に始まった女性学級も、頬を刺す寒さの1月、無事に全17講座が終了しました。今年も生活、健康、歴史、芸術等、盛沢山の講座がありました。開講した時に初めて出会った班の仲間ともすぐに親しくなり、一緒に楽しく机を並べて学び、体を動かし、音楽を楽しみ、作品を作りました。

特に今年は2回の野外活動がありました。高峰高原ハイキングはお天気にも恵まれ、それぞれの体力に合わせた3コースに分かれて楽しく歩き、美しい景色を楽しみました。また、松代へのバス旅行はテーマが歴史探訪―象山地下壕と真田宝物館を訪れました。そして美味しいお昼をいただき楽しい一日を過ごしました。

茜色の草木染め、絵手紙、おやき作り、季節のリース作り、素敵な作品ができあがりました。

また、防犯や自然災害に対する知識等、生活に大切なことも学びました。

小諸の女性学級は約70年の歴史があるそうです。多くの先輩女性たちがここで同じように学んでこられたことを思うと感慨深く、小諸に住んでいるからこそ私たちもこうして参加できることに幸せを感じます。そして来年もここで学べることを楽しみにしたいと思います。

お世話になった講師の皆様、女性学級を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

オカリナ鑑賞

健康な体づくり

おやき作り

ぼくとわたしの作品 No. 381

東小学校

「自然と演奏する自分」

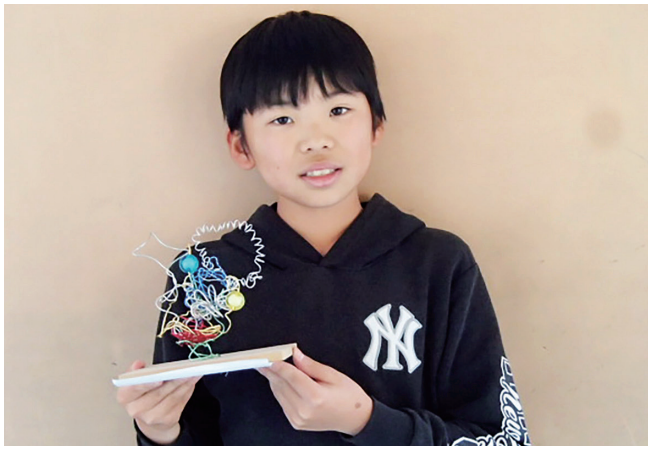
5年1組　小山（こやま）　凌（しのぐ）

ぼくは、自然と演奏する自分というタイトルで自画像を描きました。ぼくが工夫したところは、光のあたり方です。光のあたり方によっては、明るい部分と暗い部分があります。髪の毛も光のあたり方で青や白、黄色に見えます。そのことを意識して髪の毛を一本一本描きました。思ったより髪の毛を描くのが大変でした。

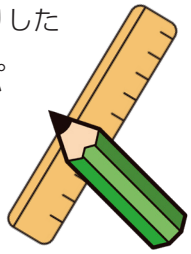
次に自画像を描く時は、うすい色から塗り、影は絵の具で黒くした水を上から塗ることで立体的な形を表現したいです。

「自分のひみつの世界」

5年2組　小林（こばやし）　琉己（りゅうき）



ぼくは、自分のひみつの世界を作りました。そこは、花があったり、キラキラマークがあったりする作品をつくりました。工夫した所は、はり金をうまくまげたり、ものをつかってまいたりした所です。定規や、鉛筆を使いました。がんばった所は、はり金をうまくまげたりして作った所です。文具にまきつけて、それをまげて、「なににみえるかな？」と考えて作りました。



「色々工夫したワイヤーアート」

5年3組　小泉（こいずみ）　華（はな）

私がワイヤーアートを工夫して作った所は、２つあります。１つ目は葉をつくった後、一周ねじってから作っていったことです。ねじると、形がくずれないようになりました。２つ目は銀色で形をつくってから色をつけていったことです。こうすると、形をまちがえても、工夫して色々な形ができると思ったからです。

そして、親鳥がとんでいるように見せたかったのでひな鳥を作った後、飛んでいるように見えるように木にまきつけて、親鳥を作りました。

3/1(日)　施設予約開始

※ 予約はオンラインのみ。事前利用者登録が必要です。

施設名	利用月	施設名	利用月
公民館	R 8/5	文化会館	R 9/3